

今年の 3 年生はコロナの影響で修学旅行もなくなり、残りの大きな行事が双松祭となりなにか 1 つくらいはしたいと思っていました。東京オリンピックでコロナ感染者が佐賀でも増えている中で体育祭だけでも開催するという風に判断をしてもらうことができ素直にとてもうれしかったです。三学年全員が応援コンクールに参加し、応援コンクールの中にみんなでするダンスをするなど、今年からの新たな取り組みがあり、初めは戸惑っていました。何から始めればいいのか、どう進めればいいのか、あまりわかってない状態からだったので不安でいっぱいでした。一年生の時に、文化の部も体育の部も開催され中学校とは全く違う学校祭で初めて目の前で見た舞に憧れを持ち、自分もいつか踊りたいと思うようになり、リーダーへの立候補をしました。そして団長にも立候補をしました。今年から委員長、副委員長制がなくなり、団長自体の仕事が多くなったためいろいろな人に支えてもらいました。支えてもらえてなかったら途中であきらめていたかもしれません。本当に感謝の毎日でした。自分たちで少しアレンジを入れてみたり、動画を見て覚えたりしていて初めは食い違いがあって喧嘩をしたけど最後にはみんなで一つ一つの舞を完成させ、成功することができ、とてもうれしかったし楽しかったです。終わったときは達成感と興奮でいっぱいになり、言葉が出なくなりました。団席にいるみんなの顔が見えた時に自然と笑顔になれました。いろいろありながらやってきたけど、最後にはみんなで笑うことができてよかったです。体育祭だけでも開催しようと動いてくださった先生方には感謝しかありません。体育祭だけでしたが、参加することができてとてもよかったです。高校最後のいい思い出となりました。ありがとうございました。